

読者とともに100年企業へ。

全国版建設産業の専門紙

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

日刊建設工業新聞

MEDIA GUIDE

株式会社日刊建設工業新聞社 事業本部事業局

〒104-0045 東京都中央区築地5-6-10

浜離宮パークサイドプレイス13階

TEL:03-6778-4682 FAX:03-6697-4402

e-mail : eigyo@decn.co.jp

支社：東北、関東、横浜、名古屋、大阪、九州

総局：北海道、千葉、北陸、中国、四国

■ 目 次

■ 媒体概要	2
■ 電子版	3
■ 読者プロフィール	4
■ 多彩な企画	5 ～ 9
■ 建設技術展	1 0
■ オンライン・セミナー「建設未来フォーラム」	1 1
■ 広告掲載事例	
ブランドメッセージ、事業・技術紹介	1 2
周年記念	1 3
企画広告	1 4
建設産業を対象にした啓発・訴求	1 5
建設産業を対象にした商品・サービス P R	1 6
小スペース	1 7
■ 月刊工事情報	1 8
■ 出版事業	1 9
■ 受託事業	2 0
■ 会社概要	2 1

日刊建設工業新聞は、建設に関するあらゆる情報を取り扱う全国版建設産業の専門紙です。
建設関連業界の皆様からのご支援を賜り、来たる2028年の創刊100周年に向けて、これからも業界の様々なニュースを確実かつ迅速に発信していきます。

「国のかたちを考える」をテーマに掲げ、
多面的な視点で建設産業の今とこれからを伝えます。

■ 媒体概要

- 《創刊》1928年（昭和3年）10月15日
- 《発行形態》日刊（土日祝は除く）、ブランクett版
- 《読者数》約338,000人
- 《購読料金》※2026年10月料金改定
 - 紙版＋電子版無料コース：11,340円（月額／消費税8%込）
 - 紙版＋電子版有料コース：11,340円（月額／消費税8%込）
＋1,100円（月額／消費税10%込）
 - 電子版コース：10,450円（月額／消費税10%込）

【紙面構成】

- 10ページ建て、臨時増ページ
- 1・2面：総合
- 3面：企業
- 4・5面：工事、首都圏
- 6面：北海道、東北
- 7面：中部、北陸
- 8面：近畿
- 9面：九州、中国、四国
- 10面：日替り企画

(1) 日刊建設工業新聞

ひとりが、未来を灯す。

■ 関電工

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

日刊建設工業新聞

2026年(令和8年) 4月1日(水) 第21306号

大東京支社 TEL 03-5561-2001 FAX 03-5561-2002

北関東支社 TEL 029-221-0001 FAX 029-221-0002

中部支社 TEL 059-221-0001 FAX 059-221-0002

近畿支社 TEL 072-221-0001 FAX 072-221-0002

中国支社 TEL 082-221-0001 FAX 082-221-0002

四国支社 TEL 087-221-0001 FAX 087-221-0002

九州支社 TEL 092-221-0001 FAX 092-221-0002

新社長

櫻林 美津雄氏

組織のベクトル同じ方向に

きょうの紙面

創刊100周年、RN建設始動

「見積もり金額確保」7割超 交省 下調査

価格協議交渉など円滑に

物価高騰、再開発事業に影響大

地域の守り手24時間勤務で

新庁舎DB、鹿島ら5番JVに

三門インサート

kanzai

100th Anniversary

挑み続ける人が、未来を変える。

RN建設の100年の歴史は、成長の連続ではありません。

無数の勝利と試行錯誤。それでも前へ進むという意志の積み重ねです。

変わることを受け、ひたむきに歩んできました。

技術や組織が変っても、変えなかったものがあります。

それは人を大切にする心。個性を否定せず、違いを力に変える文化。

そして人と社会と環境との共生を目指すこと。

これからの100年も、新たな未来に向けてチャレンジし続けます。

100周年、私たちは、加速する。

りんかい日産建設は、RN建設へ。

RN建設株式会社

2024年 5月 15日 水曜日

日刊建設工業新聞 電子版

最新紙面 2024年05月15日

最新紙面を読む >>

月刊工事情報データダウンロード

今月のデータダウンロード

● データは、エクセルのファイル形式とPDF形式でダウンロードしていただけます。

● ダウンロードできる期間は、発行月の1日（土日祝日の場合は翌営業日）から月末までです。

工事情報データダウンロード

上場ゼネコン大手4社/24年3月期決算、全社増収も3社減益

日刊建設工業新聞

お知らせ

2024-05-15 13:00 ● お知らせ
【最新データに更新しました】月刊工事情報5月号のデータダウンロードについて

2024-05-23 12:00 ● お知らせ
【最新1年間の完成工事量】2023年下期のデータを公開しました

2024-05-09 09:00 ● お知らせ
4月4日の紙面を電子版で公開しています

2024-05-27 09:00 ● お知らせ
3月27日の紙面を電子版で公開しています

2024-05-15 09:00 ● お知らせ
3月15日の紙面を電子版で公開しています

会員登録制。多様な働き方が進む中、出張先や在宅勤務中など、いつでもどこでも日刊建設工業新聞を読むことができます。

- ・紙面・記事ビューアーや紙面PDFデータのダウンロード
 - ・過去の紙面・記事バックナンバーの閲覧と検索
 - ・人事・落札・発注情報の検索
 - ・工事情報記事から地図を検索
- など充実したサービスを提供しています。

「日刊建設工業新聞」ニュースサイト

<https://www.decn.co.jp/>

毎日のトップニュースや直近の主要記事・紙面企画の閲覧を中心に、建設産業界の予定一覧や書籍案内を掲載しています。

《25年度月間平均PV》472,615PV

ワークサイト

日刊建設工業新聞 95

建設産業界の最新情報

2024年5月15日 水曜日

上場ゼネコン大手4社/24年3月期決算、全社増収も3社減益

日刊建設工業新聞

お知らせ

2024-05-15 13:00 ● お知らせ
【最新データに更新しました】月刊工事情報5月号のデータダウンロードについて

2024-05-23 12:00 ● お知らせ
【最新1年間の完成工事量】2023年下期のデータを公開しました

2024-05-09 09:00 ● お知らせ
4月4日の紙面を電子版で公開しています

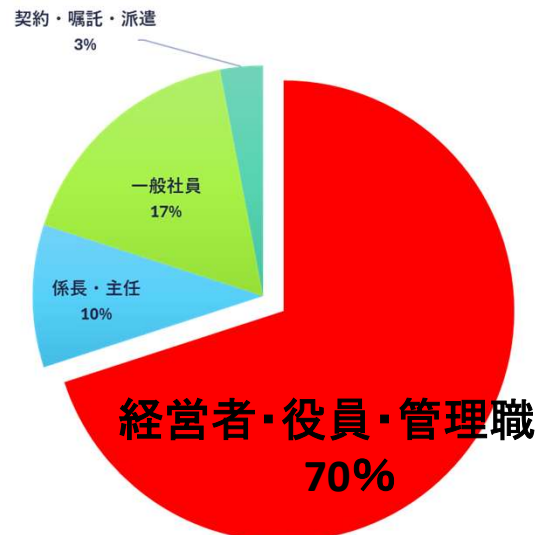
2024-05-27 09:00 ● お知らせ
3月27日の紙面を電子版で公開しています

2024-05-15 09:00 ● お知らせ
3月15日の紙面を電子版で公開しています

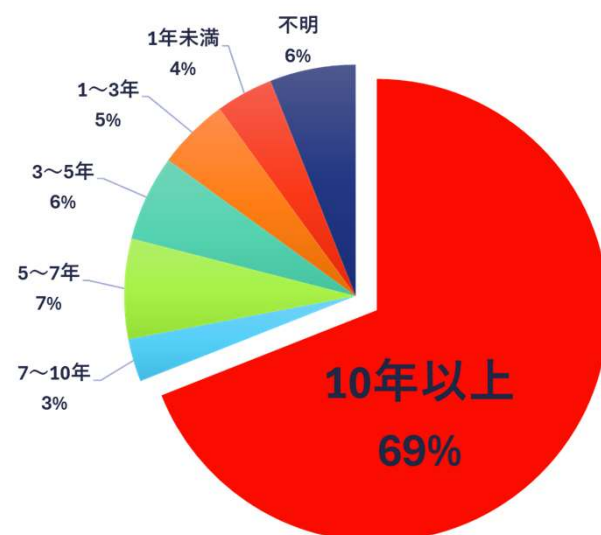
読者プロフィール

購読者の7割が経営者・役員と部長など管理職、会社の中核層が中心読者です。
10年以上の購読者が約70%、5割以上の職場で毎日回読されています。

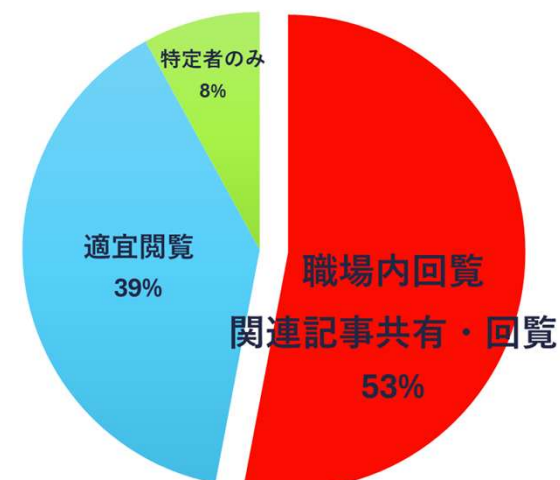
1 役職別



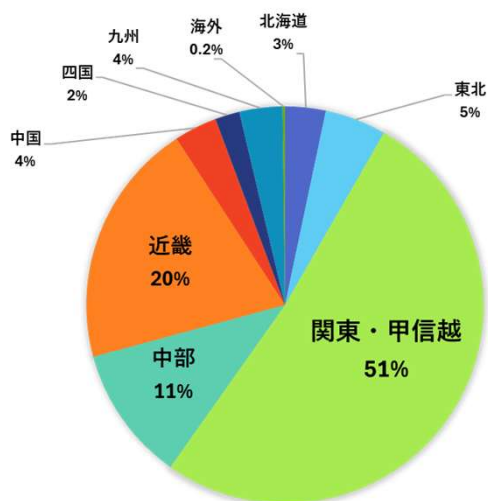
2 購読期間



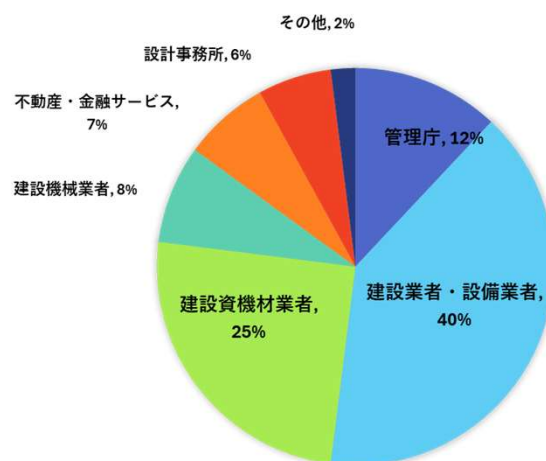
3 閲覧方法



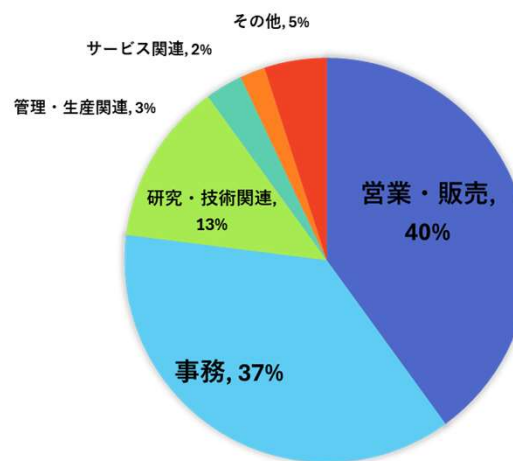
4 地域別



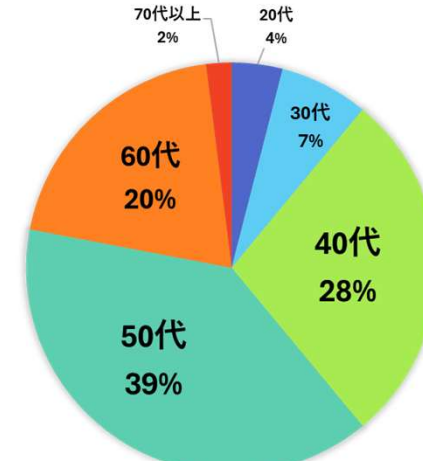
5 業種別



6 業務別



7 年齢別



《調査データ出典》

■グラフ1・2: 日刊建設工業新聞の購読台帳 ■グラフ3~7: 日刊建設工業新聞オンライン会員を対象にした「読者アンケート」調査

【期間】2019年1月16日~31日 【エリア】全国 【機関・レターヘッド】日刊建設工業新聞社 【対象および方法】日刊建設工業新聞オンライン会員の内、メール配信を承認している約1,600社を対象に、パソコンを利用したウェブ調査 【回収サンプル数】199社

Copyright © 2026 THE NIKKAN KENSETSU-KOGYO SHIMBUN. All rights reserved.

総力挙げ複合リスクに備え

首都 防衛 1

地震、火災、感染症、テロ、政治、経済、行政、金融の各板が集まる東京は、常態で多岐のなりとに隣り合っている。ひとつは都市の機能が集まれば、その影響が首都圏に広まらず、日本、さらには世界にも波及する。小百合・東京都知事は「首都防衛」を掲げ、都を挙げて都府の強化に取り組んだ。相次ぐ自然災害や国情の緊張を敏感な危機意識を高める中、首都、東京を「取り囲み」、あるいは行政的に委ねた一環でない。庶学官の壁を超え、あらゆる主体が勢力を結集し、前例のない備えに動き始めている。

表明し、取り組みを一段と進める方針を示した。

東京には政治、行政、経済、金融といった機能が集中する。それらの全部あるいは一部が一顧でも止まれば、日本全体乃至世界の混乱を引き起こかねない。都内、関東大震災から100年の節目となる2013年度の「多岐にわたる危険度」を一体的に進める「TOKYO強化プロジェクト」を立ち上げ、本格的に動き出した。

プロジェクトは「五つの危機」にて風水害、地震、火災、電力、通信を掘り上げる。自治体の計画として





日本の社会・経済活動にとって
首都防衛の重要
度は高い

(編集部首都防衛取材班)

くことも重要になる。谷崎

表明し、取り組みを一段と進める方針を示した。

プロシエントは、船動から3年、まだ船動中といえるが、以前からの船組もすべて含め、成果は着実に現れてくる。谷崎の筆で現れた住宅の耐震化の向上や浸水被害の被害の棟数は、以前に比べては大幅に減っている。しかも、手配を助ける、事前にかがたい準備できていることが、その首都防衛の要に。その言葉通り、ハートと谷崎の果敢、自助・共助、ハートと谷崎の合言葉、東京は対策を怠ることを防ぐために防災対策を進めている。

（次回から4面、第2・3・4水曜日に掲載）

次世代に安全・安心な社会基盤を

生かせ！
ダム群の
ポテンシャル

⑬

[illegible][illegible][illegible]

既設ダムの改造、施設整備が効果大

[illegible][illegible][illegible]

共創・革新・環流とは

をこれから維持し、充実させてまいりたい」とコメントしており、昨今の情勢を受けた国際協力及び政府開発援助(ODA)への期待が高まっている。

[illegible][illegible]

複雑化する課題に知見とリソースを持ち寄って取り組む

[illegible][illegible]

建設産業に関連するキーワード、テーマを掲げ、本紙内または別刷りで企画特集を掲載しています。

■ 主な企画特集

- 4月「土質・地質と基礎」
- 6月「環境特集」「土砂災害防止月間」「建設DX」「都市の未来図」
- 7月「安全週間」「海の日」「暑中特集号」
- 8月「橋の日」
- 9月「防災の日」「建設業労働災害防止全国大会」
- 10月「提言特集」「鉄道の日」、「TOKYO強靱化プロジェクト」
- 11月「津波防災の日、世界津波の日」「公共建築の日」「土木の日」
- 12月「国土強靱化・国づくり」「建設産業の国際展開」「下水道企画」「ダム整備促進」
- 1月「新年特集号」
- 2月「ストックマネジメント」

防災特集 2025

「防災の日」に寄せて

官民連携し防災力向上

坂井 学

防災の日（9月1日）に寄せて。防災の日（9月1日）は、防災意識の向上と防災力の向上を図るための日である。防災の日（9月1日）は、防災意識の向上と防災力の向上を図るための日である。防災の日（9月1日）は、防災意識の向上と防災力の向上を図るための日である。

防災の日（9月1日）は、防災意識の向上と防災力の向上を図るための日である。防災の日（9月1日）は、防災意識の向上と防災力の向上を図るための日である。防災の日（9月1日）は、防災意識の向上と防災力の向上を図るための日である。

TOKYO強靱化プロジェクト

～「100年先も安心」を目指して～

2050東京戦略の中心施策

1. 防災・減災対策

2. 防災・減災対策

3. 防災・減災対策

4. 防災・減災対策

5. 防災・減災対策

6. 防災・減災対策

7. 防災・減災対策

8. 防災・減災対策

9. 防災・減災対策

10. 防災・減災対策

2025 国土強靱化

強靱な国土へ

これが気候変動に対する田中鉄工のひとつの答え。

廃食油を活用することでエネルギーの地産地消を推進する

田中鉄工は、廃食油・グリースをエネルギーとして活用するバイオマス燃料を開発し、資源循環型社会の実現に貢献しています。自然と共生する持続可能な社会の構築を目指し、資源循環型社会の実現に貢献しています。

つなぐかわる 2026

2026 新春企画

合格実績No.1スクールの豪華教材、ガイダンスが今だけ無料!

合格

1級建築士 No.1 合格実績 64.3%

総合資格学院

be Architect

公共施設や商業施設などの竣工に合わせた特集を発行しています。

JR東日本 広域品川圏の共創まちづくり

Greater Shinagawa 本格始動 2026. 3. 28

品川駅周辺は、JR東日本が「品川駅周辺まちづくり」の一環として、広域品川圏の共創まちづくりを進めています。品川駅周辺は、品川駅周辺まちづくりの一環として、広域品川圏の共創まちづくりを進めています。品川駅周辺は、品川駅周辺まちづくりの一環として、広域品川圏の共創まちづくりを進めています。

TAKANAWA GATEWAY CITY グランドオープン

東京都港区南青山に、TAKANAWA GATEWAY CITYがグランドオープンしました。このエリアは、品川駅周辺まちづくりの一環として、広域品川圏の共創まちづくりを進めています。品川駅周辺は、品川駅周辺まちづくりの一環として、広域品川圏の共創まちづくりを進めています。品川駅周辺は、品川駅周辺まちづくりの一環として、広域品川圏の共創まちづくりを進めています。

OIMACHI TRACKS まちびらき

東京都目黒区に、OIMACHI TRACKSがグランドオープンしました。このエリアは、品川駅周辺まちづくりの一環として、広域品川圏の共創まちづくりを進めています。品川駅周辺は、品川駅周辺まちづくりの一環として、広域品川圏の共創まちづくりを進めています。品川駅周辺は、品川駅周辺まちづくりの一環として、広域品川圏の共創まちづくりを進めています。

2～3号 目黒駅日本橋町方面が誇る
THE LINE PLAZA 2

6～7番
8～10番
10～12番
M&N Takamatsu The Museum of Narutatsu
TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE
OIMACHI TRACKS

東京都目黒区に、THE LINE PLAZA 2がグランドオープンしました。このエリアは、品川駅周辺まちづくりの一環として、広域品川圏の共創まちづくりを進めています。品川駅周辺は、品川駅周辺まちづくりの一環として、広域品川圏の共創まちづくりを進めています。品川駅周辺は、品川駅周辺まちづくりの一環として、広域品川圏の共創まちづくりを進めています。

都市生活をイノベーションする先進エリア

[illegible][illegible][illegible]

2026年3月27日 「TAKANAWA GATEWAY CITY」「OIMACHI TRACKS」特集

[illegible]

日 2022年11月10日 11:00 掲載
日 2022年11月10日 11:00 掲載

認知障

OKAZAKI MARKET

本格的アウトレットモール 三井アウトレットパーク 岡崎 グランド

MITSUBI OUTLET PARK

広域観光交流拠点で地域活性化

岡崎市長 内田康史

「岡崎は、観光・スポーツ・文化のまちとして、国内外から多くの人々を魅了し、賑わいを創出しています。三井アウトレットパーク 岡崎 グランドは、岡崎市の観光・交流の拠点として、地域の活性化に大きく貢献するものと期待しています。」

開業らしき感じられる賑わいの瞬間に

「三井アウトレットパーク 岡崎 グランド」は、岡崎市の観光・交流の拠点として、地域の活性化に大きく貢献するものと期待しています。

設計コンセプト

「人々の日常に寄り、地域暮らしの中心をテーマに、自然と調和したデザインを追求し、地域の活性化に貢献する」というコンセプトのもと、設計が進められています。

土肥和也

「三井不動産リアルティ 岡崎 グランド」の責任者として、地域の活性化に貢献するものと期待しています。

大和紀子

「三井不動産リアルティ 岡崎 グランド」の責任者として、地域の活性化に貢献するものと期待しています。

三井不動産リアルティ

岡崎 グランド

三井不動産株式会社

三井不動産リアルティ

岡崎 グランド

三井不動産リアルティ

岡崎 グランド

三井不動産株式会社

三井不動産リアルティ

岡崎 グランド



株式会社
東京ドリームパーク

東京ドリームパーク 開業

2023年12月15日(金)開業






コンサートは「観客から」はじまる

多目的ホールと劇場を結ぶ
新たなエンタメ集客施設
株式会社テレビ朝日

「コンサートは「観客から」はじまる」

多目的ホールと劇場を結ぶ
新たなエンタメ集客施設
株式会社テレビ朝日

「コンサートは「観客から」はじまる」

多目的ホールと劇場を結ぶ
新たなエンタメ集客施設
株式会社テレビ朝日

「コンサートは「観客から」はじまる」

多目的ホールと劇場を結ぶ
新たなエンタメ集客施設
株式会社テレビ朝日

「コンサートは「観客から」はじまる」

多目的ホールと劇場を結ぶ
新たなエンタメ集客施設
株式会社テレビ朝日

「コンサートは「観客から」はじまる」

多目的ホールと劇場を結ぶ
新たなエンタメ集客施設
株式会社テレビ朝日

「コンサートは「観客から」はじまる」

多目的ホールと劇場を結ぶ
新たなエンタメ集客施設
株式会社テレビ朝日

2025年5月26日 船橋競馬場大規模改修

2025年11月7日 三井アウトレットパーク岡崎

2026年3月27日 東京ドリームパーク

公共機関や設計事務所の周年特集など。設計事務所特集は作品集も兼ねた構成となっています。



2025年3月3日 INA創立70周年



2025年10月1日 佐藤総合計画80周年



2025年10月20日 日建設計125周年



2025年4月11日 大阪・関西万博開幕



2025年8月1日 トンネルの日制定



2025年8月6日 UR都市機構設立70周年特集

東京・大阪で展示会を主催。社会基盤整備に関連した技術の役割や意義を発信しています。



Construction Xross 建設技術展 2026 関東

日時：2026年10月20日（火）・21日（水）
 会場：池袋サンシャインシティ展示ホール
 併催：国土交通省関東地方整備局主催「建設技術フォーラム」

建設技術展 2026 近畿

日時：2026年10月28日（水）・29日（木） 会場：インテックス大阪



建設産業の持続的発展を目標に、最新の情報などを伝えるセミナーを開催しています。

■ 2025年度開催実績

① 6月3日（火） 協賛:アンドパッド

「担い手不足解消と定着促進に向けて～業界革新の取り組み」

② 7月15日（火） 協賛:セールスフォース・ジャパン

「BIM×BI連携が拓く建設DXの未来～データ連携の高度化により新たなステージへ～」

③ 7月17日 協賛:アンドパッド

「建設業の経営改善に向けて～インフラ整備の担い手・地域の守り手である建設業の役割」

④ 8月5日 協力:U's Factory

「AIを活用した建設工事における爆速仕事術と外注費削減のインパクト」

⑤ 9月11日 共催:中小企業省力化投資補助金事務局 独立行政法人中小企業基盤整備機構

「省力化のための建設DX」

⑥ 10月2日

「ともに創る建設の未来～建設現場のオートメーション化に向けて～」

⑦ 11月3日 協賛:PwCコンサルティング

「建設業の人材戦略:制度と文化の両輪」

⑧ 11月13日 協賛:コンカー

「バックオフィスDXが推進する企業強化～継続的成長に向けた業務革新」

⑨ 1月27日 協賛:NECソリューションイノベータ

「建設業のDXを加速～情報システム部門が取り組むべき3つの課題と解決アプローチ」

⑩ 3月10日 協賛:タナベコンサルティング

「人と組織の進化が、建設業の未来を創る」

⑪ 3月24日協賛:フリー

「人材育成を通じた担い手不足解消」

目次	
1. 建設現場を取り巻く背景・課題	p.03
2. i-Construction 2.0の目的・考え方	p.10
3. i-Construction 2.0のトッランナー施策とロードマップ	p.18
4. 2024年度の主な取組成果と2025年の取組内容	p.22
①施工のオートメーション化	p.24
②データ連携のオートメーション化	p.35
③施工管理のオートメーション化	p.44



インフラ整備

20世紀型：標準の整備による効率化
＜一律管理＞

↓

21世紀型：技術者判断による精緻化
＜個別評価＞

無駄の削減・資源の有効利用





データで考える職人争奪戦時代の
建設会社の人手不足対策

日刊建設工業新聞
建設未来フォーラム

クラフトバンク株式会社
クラフトバンク総研所長 高木健次
2025.3





2025年4月1日 TANAKEN



2025年4月1日 フジテック



2025年5月26日 ナカフドー建設



2026年3月31日 IZUMIグループ



2026年4月1日 R N建設



2025年4月3日 朝日工業社100周年



2025年4月22日 三機工業100周年



2025年7月16日 建設業振興基金50周年



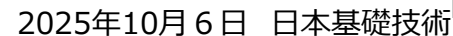
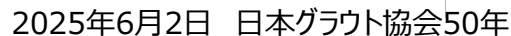
2025年8月28日 オリコンH D 20周年



2025年10月20日 日本ヒューム100周年



2025年12月1日 日企設計 50周年



2025年6月24日 mouse

2026年3月31日 かんぽ生命保険

2026年2月24日 マイシグナル

2025年11月6日 インフォマート

題 字 横

記 事 中

突 き 出 し

【建築士合格実績】
No.1 合格実績 59.2%
【建設工業新聞】
2025年(令和7年) 4月6日(月) 第21308号

産業の岐路 異次元の対応で
施設・設備 信頼確保と構造・慣習改革

防水工事
高山工業株式会社

AI Structure

U's Factory

3Dインサート

創志の会
ノブキャリイ施工集団

AI Structure
専攻やPDFの図面をA解析

【建築士合格実績】
No.1 合格実績 59.2%
【建設工業新聞】
2025年(令和7年) 4月6日(月) 第21308号

アカギの配管支持金具
株式会社 アカギ
03-3552-7331 (大代表)
本社東京・支店全国主要都市

時間も場所も選ばず
CPDSユニット取得可能
新規会員登録で
無料で視聴

ひとりひとりが、未来を灯す。
関電工

みんなで防ごう**熱中症**
早めの備えを
みんなで実施!

法定講習 受講者 **80万** 名を突破!
全国でこのような講習を実施しています。

的確な市場開拓と迅速な営業活動のための情報誌「月刊工事情報」

《発行形態》毎月1日発行、A 4 版／平綴じ、定期購読者に送付 《定価》4,950円（消費税・送料込）

○全国の建設工事ニュース

全国各地の公共工事、民間工事の情報を建築と土木に分け、計画・設計・施工の段階ごとに掲載。

○建築工事・土木工事／公共工事・民間工事

設計・着工段階に分けて掲載。ターゲットを絞った営業活動にご活用可能。

○発注者名・施工場所・工事概要・設計者・施工会社、知りたい情報を見やすい表組で編集。

○読者限定 Web サービスとセットでご提供

「全国の建設工事ニュース」や「建築確認申請」の掲載データはダウンロード可能。

エクセルファイル形式のため、並べ替えや名称の検索、企業別の抽出なども自在に行えます。



標識設置届	
届出番号	1234567890
届出日	2026年1月1日
届出者	株式会社ABC
届出場所	東京都千代田区千代田
届出内容	建築・土木

建築・民間	
工事名称	新築住宅
工事概要	新築住宅、建築面積100㎡
設計者	株式会社XYZ
施工会社	株式会社ABC
発注者	株式会社DEF
工事場所	東京都千代田区千代田
工事内容	新築住宅、建築面積100㎡

土木・設計・コンサルタント	
工事名称	道路工事
工事概要	道路工事、延長1km
設計者	株式会社GHI
施工会社	株式会社JKL
発注者	東京都千代田区千代田
工事場所	東京都千代田区千代田
工事内容	道路工事、延長1km



市街地再開発ニュース	
市街地再開発	市街地再開発、建築面積100㎡
設計者	株式会社ABC
施工会社	株式会社DEF
発注者	東京都千代田区千代田
工事場所	東京都千代田区千代田
工事内容	市街地再開発、建築面積100㎡

海外トピックス	
海外トピックス	海外トピックス、建築面積100㎡
設計者	株式会社GHI
施工会社	株式会社JKL
発注者	東京都千代田区千代田
工事場所	東京都千代田区千代田
工事内容	海外トピックス、建築面積100㎡

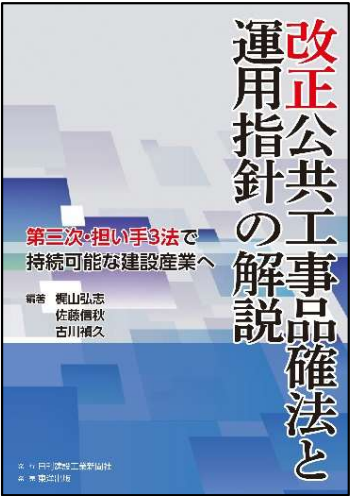
解説書など多岐にわたる分野の書籍を出版しています。



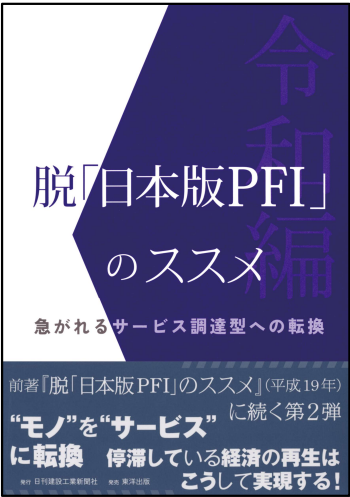
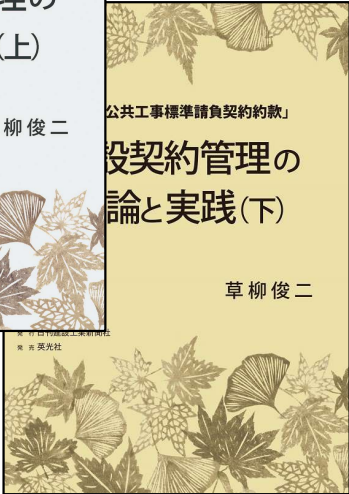
■ 国際協力機構（JICA）著作シリーズ



■ 専門紙ならではの各種書籍



■ 本紙連載「草柳教授の建設契約講座」を書籍化



■ 企業・団体の記念誌や機関誌、広報資料、各種レポートの編集・制作をしています。

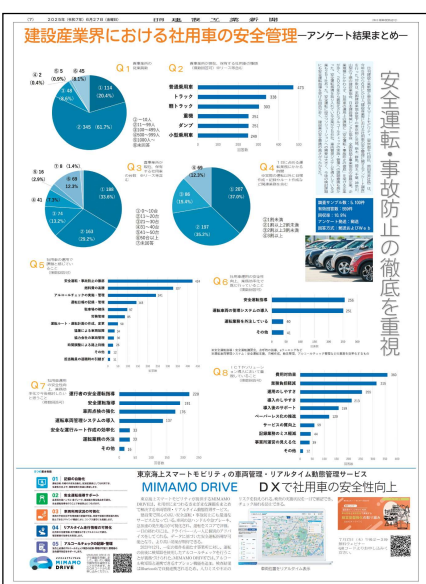
■ 市場分析、建設産業界とのマッチング等を目的としたアンケート・調査業務を実施しています。



総合資格
「Architekton」



日本埋立浚渫協会
「MarineVoice」



東京海上スマートモビリティ
「社用車の安全管理アンケート」
(2025年6月27日)

■ 国際会議など各種事業の運営を受託しています。

- 【2017年10月、2019年3月、2021年 9 月】APEC Tokyo Conference on Quality Infrastructure
APECと国土交通省が東京で共催した国際会議の運営を担いました。※ 2 0 2 1 年はオンライン開催
- 【2019年7月】アフリカ留学生対象「日本の質高インフラ視察ツアー」
国土交通省が主催した「日本の質高インフラ視察ツアー」の企画・運営を担いました。
- 【2019年10月】日ASEANスマートシティネットワークハイレベル会合（ASCN）
第8回アジア・スマートシティ会議（ASCC）
ASEAN・国土交通省共催のASCN、横浜市主催のASCC。同時開催された国際会議の運営を担いました。



創刊	1928年（昭和3年）10月15日
資本金	2,000万円
代表取締役社長	高橋 治光
役員	代表取締役専務 高橋 宏彰 専務取締役 坂川 博志 常務取締役 佐々木 修 常務取締役 横川 貢雄 取締役 田野口 美秋 監査役 吉永 茂
従業員数	約110名
機構と組織、支社・総局	本社 〒104-0045 東京都中央区築地5-6-10 浜離宮パークサイドプレイス13階 【編集局】 編集部、整理部、情報システム部、メディア出版部 【事業本部】 事業局、企画・制作局企画部、企画・制作局広告制作部、販売開発部 【総務局】 総務部 【支社】 大阪支社 〒540-0039 大阪市中央区東高麗橋1-12 名古屋支社 〒461-0001 名古屋市東区泉1-22-22 横浜支社 〒104-0045 東京都中央区築地5-6-10 浜離宮パークサイドプレイス13階 関東支社 〒104-0045 東京都中央区築地5-6-10 浜離宮パークサイドプレイス13階 東北支社 〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-18 九州支社 〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目10-20 【総局】 北海道総局 〒060-0042 札幌市中央区大通西9丁目1 千葉総局 〒104-0045 東京都中央区築地5-6-10 浜離宮パークサイドプレイス13階 北陸総局 〒951-8066 新潟市中央区東堀前通1番町343 中国総局 〒730-0013 広島市中区中区八丁堀11番28号 四国総局 〒760-0006 高松市亀岡町6-7
主要取引銀行	三井住友銀行、三菱UFJ銀行、みずほ銀行 ほか
加盟団体	日本専門新聞協会、東京商工会議所 ほか
事業内容	建設業界の全国総合紙である日刊建設工業新聞、電子版の発行、月刊工事情報など定期刊行物並びに建設産業関係の多種多様な出版物の発行、展示会、セミナー、シンポジウムの開催など。



日刊建設工業新聞社